



基本理念

この病院で最も大切なのは患者さんです

The Most Important In This Hospital is the Patient.

安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します

人権を尊重し、患者さんが安心し、納得する精神医療・ケアを提供する
説得力のある最新の医学的根拠に基づいた治療を目指す
政策医療を中心に高度の医療サービスを提供する
高度・先駆的な精神医療を模索し、研究・教育・研修に力を入れる
自然に囲まれた落ち着いたアメニティーを提供する
地域の医療機関と協力して心の健康作りをめざす

M E N T A L
Mental Care
EBM
National Policy
Teaching
Amenity
Local Network

Contents

| | |
|--------------------------|---|
| 新年のご挨拶 | 2 |
| 認知症高齢者セミナーinきくち | 3 |
| 第74回西日本認知症高齢者対策研修を開催しました | 3 |
| 国立病院総合医学会発表 | 4 |
| 第23回国立病院看護研究学会学術集会に参加して | 5 |
| 第5回作品展示会 | 6 |
| ふれあいピック | 7 |
| クリスマス会 | 7 |
| 外来診療のご案内 | 8 |

発行所：〒861-1116 熊本県合志市福原208
独立行政法人国立病院機構 菊池病院
編集発行：広報誌編集委員会





令和八年

新年のご挨拶

院長 山下 建昭



明けましておめでとうございます。本年も菊池病院をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和8年の正月は、天候にも恵まれ、病院から見える阿蘇外輪山の山なみもすっきりと見え、気持ち良いスタートとなりました。

今年の干支は午年（うまどし）です。動物では馬があてられ、馬は「速さ」「情熱」「自由」「社交性」の象徴とされています。迅速積極的に行動することで成果を上げ、エネルギーに満ちた年であるように、自由な発想を取り入れて、これまで通り人間関係を大切に、職員全員が夫々の部署で力を発揮し、菊池病院を発展させて参りたいと思います。

今年も「最も大切なのは患者さんです。」「安心して相談できる心と脳の専門医療を目指します」をモットーに取り組んで参ります。当院は一般精神科医療はじめ、認知症、強度行動障害、難治性統合失調症、医療観察法などの分野に対応しています。これらの治療を通して、地域に貢献して参りたいと思います。全職員で虐待防止、ハラスメント防止に取り組み、利用者の方には安心して利用して頂ける病院を、職員にとっても働きやすい

病院を目指します。また、災害拠点精神科病院としての機能も期待されており、それに対応できるように取り組んで参りたいと思います。

今年6月には、診療報酬改定が予定されております。地域の要請をしっかりと受け止め、医療安全を常に意識して病院の経営基盤をしっかりとさせ、社会に貢献して参りたいと思います。精神科領域も地域医療構想の中で検討する日が近づいています。中長期的先の将来を見据えた菊池病院の在り方を考えながらこの1年を頑張っ参りたいと思います。

国立病院機構のセーフティネット系の病院として、変化に対応しながら今年も地域に貢献して参りたいと思います。皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。





認知症高齢者セミナー in きくち

地域医療連携係長 宮崎 里美

10月31日と11月28日に「認知症高齢者セミナー in きくち」が当院で開催されました。このセミナーは、「認知症疾患及び認知症ケアについて理解を深め、日々の関わりに活かす」ことを目的としています。認知症疾患医療センター長の塩沢真揮先生、認知症看護認定看護師の坂本真一郎看護師、認知症ケア専門士の荒木留美看護師、認知症の人と家族の会 熊本県支部の熊本県認知症コールセンター専門相談員藤井美千代先生より講義をして頂きました。セミナーには介護支援専門員や介護福祉士など58名程が受講されました。活発な意見交換が行われ、受講者からも「この研修を、日頃の介護の現場で活かしていきたい」「認知症の特徴を再認識できたので、ケアで困っている方のアプローチ方法を増やして

いきたい」などと好評を頂きました。来年度も開催予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしています。



令和7年度 第74回 西日本認知症高齢者対策研修を開催しました

教育担当看護師長 坂本 めぐみ

当院は、西日本地区の認知症高齢者モデル事業施設として指定され、その事業の一環として本研修を実施しており、コロナ禍以降はWeb研修に切り替えて継続しております。今年度も認知症の病態、治療、看護についての講義・演習を11月11日(火)～13日(木)の3日間で開催し、九州各県及び岡山、愛媛、滋賀県等より計21名の看護職が参加されました。研修後のアンケートでは、「とても興味

深く、分かりやすい講義だった」、「認知症ケアの課題について情報共有し、話し合うことができ、貴重な経験だった」等多くの回答をいただきました。今後も認知症ケアの向上に寄与できるよう継続してまいります。本研修開催にあたり、ご講義いただきました講師の皆様、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。

研修日程:第1日目 11月11日(火)

| 時間 | 内容 |
|-------------|--------------------------------|
| 9:50~10:10 | 受付・出席確認・オリエンテーション |
| 10:15~10:20 | 開講式 |
| 10:20~10:35 | GW説明・ブレイクアウトセッション テスト及び自己紹介 |
| 10:45~12:00 | 講義①「認知症の基礎知識・治療の現状」 |
| 12:00~13:00 | 休憩 |
| 13:00~15:00 | 講義②「認知症高齢者の看護」 |
| 15:10~17:00 | 講義③「高齢者の摂食訓練」 |

研修日程:第2日目 11月12日(水)

| 時間 | 内容 |
|-------------|--------------------------|
| 8:30~8:40 | 出席確認 |
| 8:50~9:50 | 講義①「認知症高齢者の作業療法」 |
| 10:00~11:00 | 講義②「認知症に関わる保健・医療・福祉制度」 |
| 11:10~12:10 | 講義③「認知症に起こりやすい医療事故と対策」 |
| 12:10~13:10 | 休憩 |
| 13:10~14:10 | 講義④「認知症と共に生きる人を支える家族の思い」 |
| 14:20~15:50 | 講義⑤「せん妄の予防と対応」 |
| 16:00~17:00 | 講義⑥「認知症高齢者の栄養管理の実践」 |

研修日程:第3日目 11月13日(木)

| 時間 | 内容 |
|-------------|--------------------------|
| 8:30~8:40 | 出席確認 |
| 8:50~9:50 | 講義①「認知症に特有な倫理的課題と意思決定支援」 |
| 10:00~12:10 | 演習「事例検討」 *途中休憩10分 |
| 12:10~13:10 | 休憩 |
| 13:10~14:00 | 事例検討の振り返り・意見交換 |
| 14:00~14:10 | 閉講式 |

国立病院総合医学会発表

薬剤師 井上 智敦

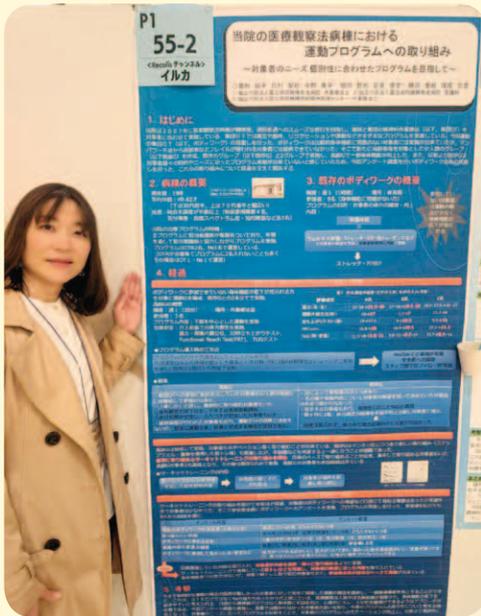
2025年11月7日～8日にかけて行われました、国立病院総合医学会in金沢に参加しました。今回、ポスターにて「白血球減少でクロザピン中止となった症例に再投与した一例」について発表し、ポスター賞を頂くことができました。ご協力いただきました皆様には感謝申し上げます。

クロザピンは2種類以上の抗精神病薬を十分な量、一定期間投与しても症状の改善が見られない場合もしくは副作用発現のために既存薬を十分に増量できず十分な治療効果が得られない場合に使用する薬剤です。薬剤科では、クロザピンを調剤する際にCPMSモニタリングシステムを使用し採血結果において投与基準を満たしているか、投与量や投与スケジュールは適正であるかを確認しています。

また、当院ではクロザピン使用患者様の状況を把握するためクロザリル運営委員会があります。多職種で患者様の現状を報告し合いより良い医療を提供できるように努めています。



作業療法士 尾形 純子



2025年11月7～8日に金沢で行われた第79回国立病院総合医学会でポスター発表を行いました。内容は当院の医療観察法病棟で長年実施してきた集団の精神科作業療法の一つである運動プログラムを見直し、マンパワー不足から導入できていなかった転倒リスクのある高齢者等のプログラム導入や、対象者にアンケート調査を行い、対象者のニーズや個別性に応じたプログラムへ改定した取り組みについて報告しました。

ベストポスター賞も頂くことができ、プログラム運営等で一緒に担って下さっている病棟スタッフの協力があったからだと思っています。

今後も対象者の個々のニーズに耳を傾け、対象者の目的に応じたプログラム運営を目指していきたいと思えます。

令和7年度 第23回 国立病院看護研究学会学術集会に参加して



「経験学習を活用した副看護師長への
教育的支援から見てきた課題」
発表：坂本教育担当看護師長

教育担当看護師長 坂本 めぐみ

令和7年12月20日、熊本城ホールで開催された標記学会に参加しました。「心ふるわす看護－VUCAの時代に、変わるものと変わらないもの－」が学会のテーマで、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字をとって「VUCAの時代」と言われていますが、基調講演を聴き、進化し続ける医療・看護の現場で、看護専門職としての信念を持ち、専門性を探究し続けることが重要であり、専門職としてのブレない判断軸があればVUCAの時代にも柔軟に対応できると学びました。今回、看護部からポスター展示に2題エントリーし、副看護師長研究会では災害医療訓練の取り組みプロセスの学びについて、看護師長研究会では副看護師長への教育的支援の取り組みについてまとめました。他施設の方との交流もあり、大変有意義な時間でした。今回の学びと経験を現場にフィードバックしていきたいと思えます。

副看護師長 名越 誠

令和7年12月20日に開催された「第23回国立病院看護研究学会学術集会」に参加し、副看護師長研究会の取り組みとして、「災害医療訓練の企画・実施のプロセスから見た副看護師長の学びと課題」というテーマでポスター発表を行いました。他施設の参加者から質問を受け、災害医療への関心の高さを感じ、精神医療の現場における課題も共有することができ、大変有意義な機会となりました。災害医療訓練プロセスについて、経験学習モデルに沿って振り返り、訓練企画の段階で副看護師長自身の災害医療に関する知識不足を痛感したこと、効果的な訓練実施に向けて、発災状況をスタッフと共に具体的にイメージすることが重要であることが明らかになりました。副看護師長として、今回の経験で得た教訓を活かし、看護管理者として自己研鑽すると共に、地域の災害拠点精神科病院としての役割を果たす一端を担えるよう継続して取り組んでいきたいと思えます。



「災害医療訓練の企画・実施プロセス
から見た副看護師長の学びと課題」
発表：名越副看護師長

第5回作品展示会

主任作業療法士 佐々木 朋子

10月20日から10月31日にかけて、第5回作品展示会を開催しました。60以上の作品が集まり、会場は来場者でにぎわい、笑顔あふれる展示会となりました。作品には、日々の療育やリハビリの中で積み重ねてきた努力や工夫、そして作者それぞれの思いが込められています。制作過程を通して達成感や自己表現の喜びを感じられる大切な機会となりました。表彰式では、デイケア利用者によるハンドベルの演奏会も行われました。『涙そうそう』等の心に響く演奏に静かに耳を傾け、涙を流される患者様の姿も見られ、会場は温かな空気に包まれました。来場された方々からは、作者に向けた温かいメッセージも寄せられました。作品展示会は、創作活動を通して人と人が繋がり、心が動くひとときを共有できる場となりました。



院長賞
南2：花束



事務部長賞
南1：熊本神輿



看護部長賞
南2：秋づくし



みんなの
第5回
作品展示会

芸術の秋
みんなの描く芸術に
触れてみませんか

受賞を手にするのは！？

10/21(火) ⇒ 10/30(木)
9:00～16:00 土日はお休みです

場所：菊池病院
(多目的棟)

10/31 AM 受賞式！！

～ご来場の皆様へ～

ガラスの費用 入浴の設備 手動昇降機

お問い合わせ
国立病院機構 菊池病院
096-248-2111 (内線)
11C 1F-202号 連絡：佐々木・中野





ふれあいピック

医療社会事業専門員 上林 旭平

令和7年11月14日にパークドーム熊本にて「ふれあいピック」が現地開催されました。数年はコロナ禍によりオンラインでの実施が続いていましたが、待ち望まれていた形での復活となりました。県内の病院や施設が一堂に会し、現地参加245名、オンライン参加201名の大運動会が開催されました。当院としては、5年ぶりの現地参加となり、広い会場に響く声援や笑い声に包まれ、久しぶりに一体感を味わうことができました。当日は「缶積み競争」「サバイバルゲーム」「パン食い競争」の3競技に参加し、それぞれの得意分野で力を発揮。会場には自然と笑顔があふれ、他施設との交流も深まりました。さらに特別ゲストとしてくまモンが登場し、愛らしいパフォーマンスで会場は最高潮の盛り上がり。参加者からは「とても楽しかった」「また来年も参加したい」といった声が多く寄せられ、心に残る一日となりました。



クリスマス会

療育指導室 主任保育士 鶴田 久美子

療育指導室では、個別的な療育・行事活動を中心に細やかな表情変化、動きや声に寄り添えることができるよう支援に努めています。12月18日に2019年以来6年ぶりに各病棟でクリスマス会を開催しました。ツリー等の壁面装飾は利用者様が紙を切り貼りされ、自由に色を付けて制作されました。ハンドベル演奏をメインプログラムとして、病棟師長をはじめ病棟職員と利用者様参加型の笑顔時間となりました。視・聴覚等の活動刺激に配慮し個別活動にご参加の方には、リズムに合わせて身体を左右に動かされる方もいらっしゃいました。ご家族様ボランティア参加は難しい状況ですが、改めて皆で集うことの大切さ、多職種協働での療育支援の重要性を感じました。



外来診療のご案内 GUIDANCE OF OUTPATIENT CARE

(令和8年1月1日現在)

| 項目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|--------------|----------------------|------------|----------------------|------------|------------|
| 新患 | 田中亨 | 石田 | 三浦 | | 渡邊 |
| | 西尾 | | (西尾) | | |
| | 渡邊 (第2・第4) | | | | |
| もの忘れ 外来新患 | (塩沢) | 塩沢 | 塩沢 | | |
| 子供外来 | 石田 (午前) | | 田中恭 (13:30～15:00) | 石田 (午前) | |
| | 田中恭 (13:30～15:00) | | | | |
| 再来 | 塩沢 | 山下 (午前) | 渡邊 | 西尾 | 山下 (午前) |
| | 三浦 (午後) | 河野 | 石田 (午前) | 瀬戸口 | 田中亨 |
| | | | 三浦 (午後) | 松岡 | 塩沢 |
| | | | 両角 | | 瀬田 |

【専門外来】

- ◆ 老年期・・・担当医：塩沢
- ◆ 物忘れ外来・・・認知症予防と認知症に対する専門外来を行っております。
- ◆ MRI検査・・・当院にてMRI検査を受けることができます。

【診察時間】

受診時間 8:30～15:00
 付療時間 8:30～17:00
 休診日 土・日曜、祝祭日、振替休日、
 年末年始(12月29日～1月3日)

【受診方法】

- ◆ 診察については予約制となっております。
- ◆ 初診の方：地域医療連携で予約を行っております。
- ◆ 電話番号は 096-248-2111
- ◆ 再診の方：診察後、次の診察日をご予約下さい。予約の無い方は外来に電話で予約して下さい。



交通機関

- JR豊肥本線三里木駅下車
タクシー10分
- 熊本空港よりタクシー約20分



独立行政法人 国立病院機構 菊池病院

〒861-1116 熊本県合志市福原 208
 TEL 096-248-2111 FAX 096-248-4559
<https://kikuchi.hosp.go.jp/>